

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 23 年 3 月

テーマ 県民交流広場事業に取り組んで

寄稿者 宝塚市西谷地区まちづくり協議会

宝塚市の北部に位置する西谷地区は、田園風景の中に、里山と自然林、多様な生態系を持つ湿原と、季節には蛍が舞う清流が溶け込んだ自然豊かな地域です。四季の移り変わりを肌で感じる風土には、多彩な伝統文化・行事が多く残されています。その中であって、いかに住民が安全で快適な生活を送るかを課題として「自然と共生する快適なふれあいの里づくり」を目指しています。

何よりも、住民が郷土に愛着と誇りを持つことが、地域づくりの第一歩と言われます。西谷の伝統、文化、景観、自然環境などをはぐくみ、いつまでも住み続けたいと思えるだけでなく、訪れる人にとっても、西谷をふるさととする人にとっても、ほっとできる地域でありたいものです。

県民交流広場事業には、平成 17 年度から取り組みはじめましたが、すでに助成期間の 5 年が経過しました。この間、地元の農産物を生かした料理教室や、豊かな自然を生かした「花の気持ち～My ぼたん講座～」 「虫の気持ち～みつばち教室～」といった講座の開設、湿原や里山の保全など西谷の自然の中で活動したメンバーが、それぞれの活動や成果の発表と交流を深め、「自然と共生する地域づくり」について考える「西谷環境サミット」の開催などに取り組みました。

ボランティアグループの結成や、他の公共組織とのよりよい連携ができるようになったほか、講座修了後もグループによる活動が継続しており、活動のリーダーも育ちつつあります。

助成金がなくなったあとの活動資金の確保が今後の課題ですが、「参加者にも受益者負担を」ということで、講座を開催する際には、参加費を納めてもらい、講師謝金、会場費、資料代等に充当しています。

これからは、地域内だけでなく、地域外からも多くの方々に参加してもらえよう、さらに魅力のあるプログラムづくりに努め情報発信を行っていきます。5 年間の活動が無駄にならないよう地域の財産である人、自然、文化を生かしながら活動を継続していきたいと考えています。